1 ■トラック『実験記録、催眠アプリの効果実践』

2

3 おや。お疲れ様ですー、先生。

4 いちめ、お忙しいところ、

5 保健室までご足労いただいて、ありがとうございます

6 本当なら、私の方から伺っても良かったんですけど……

7 ちょっと込み入った話でして。他の人には聞かれたくないなあ……と

8

9 ……あー、いえいえ、悪い噂だなんて、とんでもない

10 むしろ、女学園という慣れない環境の中、

11 先生は良くもってくれていると思いますよ

12 ここに来てもらったのは、もっと別の……

13

14 そつですね、プライベートな要件なので

15

16 早速ですけど、先生、このスマホを見てくださーい

17 ……ふふ。どこにでもあるような、普通のスマホですよ。

18 最新機種ってわけでもありません

19

20 ただ、このアプリを起動すると……ふふ、頭がぼーっとしますよね

21 次第に、何も考えられなくなりますよ……。でも、それで良いんです

22 催眠完了……っつ

23

24 わて、スマホはどこかなあ……。お、これですね

25 今から先生のスマホに、催眠アプリをインストールします

- 1 このアプリは、起動して画面をかざすだけで、
- 2 人の認識を簡単に書き換えることができます
- 3
- 4 つまり、全ては自分の思い通り……まさに夢のようなアプリです
- 5 これがあれば、その内に秘めた欲望を、現実のものにできますよ
- 6 先生、あなたにはその才能があるように思います…
- 7 この催眠アプリで、自分の理想の世界を作ることだって可能はず…
- 8 ただ、更なる改良のためにも、今はデータが欲しい…
- 9
- 10 先生、このアプリ、自由に使ってくれて構いませんよ
- 11 私が指示することは一切ありません。このアプリは、もう先生の物です…
- 12 ……ただし、私がインストールしたことは、記憶に残りません…
- 13 催眠アプリは、いつの間にか勝手に入っていた…。
- 14 先生が覚えているのは、アプリの使い方だけ…
- 15
- 16 それ以外の情報……私が今日呼び出したこと、
- 17 話した内容も、頭から抜け落ちてしまいます…
- 18 なのに先生は、最初からこの見覚えのないアプリの使い方を知っている…
- 19 理解しましたね……？
- 20
- 21 ……おっと、最後に一つだけ
- 22
- 23 私…安達南への催眠は対象外です
- 24 まあ、念のためというだけで……。用件は以上です
- 25 わあ、もう行って良いですよ。

1	保健室から一歩出たら、あなたは意識を取り戻します
2	先生の思い描く理想の世界、私に見せてください
3	
4	期待、していただけますよ……ふふ
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	

1 ■「トラック2」柘沢朱音の場合「おちんぼお世話係付きセクハラ服装検査」

2

3 あ。先生っ、おはようございます。いつも「苦勞様です

4 ……今日は、早かったんですね」

5 授業までまだ時間がありますけど、何かお手伝いできることはありませんか？

6 ……いえいえ、遠慮しないでください。私、クラス委員ですから

7 それに、尊敬する先生のお役に立てたら、とっても嬉しいので……。

8 私のこと、頼ってほしいです

9 資料が必要でしたら、職員室から取って来ますし……

10

11 お疲れのようでしたら、マッサージとか……

12

13 それとも、溜まってるようでしたら、おちんぼのお世話……しますか？

14 ……えへへ。そんな、良い子だなんて……。

15 私、先生のおちんぼお世話係だから……当然、ですよ

16

17 今も、私にぎゅーって密着されて……

18 おちんぼがムズムズしてるの……気づいちゃってますから

19 早くお世話してあげないとして………かな

20

21 あ、服装検査がまだでしたね。では、まず私からお願いします……

22

23 ん。スカートの中、どうですか……?

24 はあ、ああ……電動パイプの着用、しっかりとできてます……?

25 ん、はあ………さっきもトイレで確認したんですけど、ちゃんと規定通り……

- 1 ん、おまんこの奥の方まではめて……振動も、強く設定してます
- 2 挿入するバイブの長さ、太さも……
- 3 膣奥のポリチオまで、刺激できるものを使用して…
- 4 んう、ふああ……先生のよしよし、大好きです……。ありがとうございます、いじります
- 5 定められた校則に従うのは、生徒として当然ですから……えへへ
- 6
- 7 ……あ、でも、そつですよね。
- 8 皆が校則を守っているとは限らないので……。
- 9 お邪魔でなければ、服装検査、私に協力させてください
- 10 ……は、はいっ。お役に立てるよう、頑張りますね
- 11
- 12 それじゃあ……みんなー、服装検査始めるから、
- 13 起立して、出席番号順に一列に並んでください……っ
- 14 ……ほら、早くう。先生を困らせちゃダメですよー
- 15
- 16 ……もう。ほんとに皆、良い子なんですけどね……
- 17
- 18 あ、並び終わったようなので、
- 19 服装に問題がないか、一緒に見て回りますしゅう
- 20 さ、先生…順番にスカートをまくっていきますので。
- 21 規定に違反していないか、隅々までチェックしてくださいね
- 22
- 23 まずは、この子から……ん。
- 24 バイブの方は、おまんこの奥まで問題なく挿入されていますね
- 25 強わも、ちょいづい良わねっ……。

- 1 あとは長々と太さですけど、先生、どうですか？
- 2
- 3 ……あ、はい、私の目から見ても大丈夫そうです
- 4
- 5 では、次の子の服装チェックに行きましょう
- 6
- 7 ……わあ、先生。
- 8 この子のスカートの中、じっくりと見てみてください
- 9
- 10 ……わ、この子、愛液がすごいんですね……感じ易いんでしょうか
- 11 太ももから、やさしいおしるが伝って…床がびしょびしょになっています
- 12 清掃係にお願いした方が良さそうですね……。
- 13 愛液で滑って、生徒が転んだりしたら大変ですから
- 14
- 15 では、次の子に……あ。どうしてスカートを押さえるんですか？
- 16
- 17 (女子モブ) ……別に良いじゃない。
- 18
- 19 ……何もやましいことがないなら、素直に見せられるじゃない……
- 20 怪しいですよねえ、先生
- 21 その非協力的な態度、先生に対して失礼ですよ……
- 22 さ、スカートの中、見せてください
- 23
- 24 (女子モブ) ……っ。これで、良い……
- 25

- 1 ……あ、やっぱり。この子、バイブを挿入していません。校則違反です
- 2 しかも、こんな可愛い下着を穿いて……。
- 3 バイブを入れ易いように、先生が用意してくれた専用のものがあるのに…
- 4 これは、お仕置きが必要ですね、先生？
- 5
- 6 先生のおちんぽも、もっおっきくなっていますし…ちょうど良かったです
- 7 ……先生？ 我慢しちゃダメですよ？
- 8 スポンがばんぱんで、苦しそうじゃないですか
- 9 おちんぽお世話係として、見過ごすことなんてできません。
- 10 勃起おちんぽ、出してあげまじょう
- 11 さ、私に任せてくださいわね……ん
- 12
- 13 わあ、いつも通りの、とっても素敵なおちんぽですね……はあ、遅いっついで
- 14 こんなにふっとなつているのも、
- 15 私たち生徒のことを考えて下ろっている証拠、ですよわね…
- 16 ん、はあ…あっつうい。
- 17 れるお、んれるう、れるれるう、れるるお…
- 18 シロシロ、シロシロお……はあ、先生…さすがです
- 19
- 20 れるお、れるれるう、んれるお……でも、お身体には気を付けてくださいね？
- 21 毎日…れるれるう、おちんぽでの指導に加えて、
- 22 タマタマも元気な精子をいっぱい作り続けて…大変じゃないですか？
- 23
- 24 私たちークラス分のおまんこを、先生のおちんぽ一っで
- 25 指導して下ろっているんですから…れるう、んれるお、れるれるう、れるるお

1 何かあったら、私に相談してくださいね？

2 私は、先生のおちんぽお世話係なんですから…

3 んれろお、れるう、んれろお、れるれるう

4

5 (女子モブ) ちょ、ちょっと、何してるの…？

6 別に良いでしょ、1人の女の子。

7 こんな、エッチな下着、どうして私が…

8

9 ああ、先生が毎日、こんなに頑張ってくれているの！

10 反抗的な子には困っちゃいますよね…

11 先生の優秀な精子を浴びて、更生させてあげましょう……

12 んれろお、んれろう、れるれるお

13 この生意気なお顔に、濃いのを、びゅるるううって…♪

14

15 (女子モブ) ちょっ、やあっ、やめて、離してよお、クラスメイトでしょっ？

16

17 あ、逃げないように、しっかり押さえつけてくださいねえ……。

18 んれろお、んれろう、れるお、私は先生のおちんぽのお世話で手が痒がってるから…

19

20 んれろお、んれろう、れるれるお…んれろお、はあ

21 んれろお、んれろう、れるれるお、んれろう、れるれるう、れるれるお…

22 ああ、おちんぽ、びくんって……れるお、んれろう、れるれるう、れるるお…

23 ああ…まったく、先生の手を煩わせるなんて、ひどいですよねえ

24 これから、精子を顔に掛けて下さるのに、そんなに嫌がって…

25 失礼だとは思わないんですか？

- 1 お仕置きとごじゆり、¹「褒美みたいなものなんですよ。」
- 2 ありがとうございます、だよなっ。
- 3
- 4 (女子モブ) うう……なんで、私だけ……
- 5
- 6 そんなに嫌がるなら、校則を守れば良いの……
- 7
- 8 (女子モブ) けど……いいじゃない、下着くらい可愛いのも……
- 9
- 10 ふう。学園は、お洒落をしない行く場所じゃないですよ……ね、先生
- 11 大切なのは品格と礼節……。
- 12 校則も守れないようじゃ、¹この学園に通う資格があるようには思えません……
- 13
- 14 わあ、先生……悪くそご¹指導を。
- 15 シロシロのゲームで、彼女の不純な心を清く染め上げてくたわっ……
- 16 なるなあ、なるうう、なるるあ、れるるるう、せーのっ
- 17
- 18 (女子モブ) ひゃっ、んんんうう、ふあああ……
- 19
- 20 ひゅっひゅんんんん、ひゅんんんんんん、ひゅーひゅー……
- 21
- 22 わあ、つっぱづ出ましたねえ……。
- 23 制服が、精液でシロシロになって……はあ
- 24 先生、¹指導お疲れ様です
- 25

- 1 では、下着とズボンを元に……あれ、まだ大きいままですね
- 2 どうしましょう。指導のためとはいえ、おちんぼを出したままというのも……
- 3 申し訳ないような……
- 4 ……え、先生？ どうしたんですか、このスマホに何か……あ
- 5 ああ、そうでした、私、おちんぼお世話係だけじゃなくて、
- 6 今週はペニスケース係も兼任しているんです
- 7 こんな大切な役目、どうして忘れてたんだろ……本当にごめんなさい、先生……
- 8
- 9 先生のおちんぼ、私のおまんこの中で、あつためますので……んう、そあどろぞ
- 10 バイブで隅々までほぐしてあるのに、
- 11 根元までぬぶぶうって、すぐ挿入できますよ……
- 12
- 13 ん、んんんうう、ふあああ……
- 14 ちゃんと、おちんぼ……収まりましたね……
- 15
- 16 ……ん、んう、はあ、はあ……あんっ、んんう、先生……動いちゃうんですか？
- 17 はあ、ああ……ん、んんう、あ、そうですね……
- 18 ん、んう、ペニスケースの具合を、んんう、確認しないと……んう
- 19 私はその、先生のおちんぼ、とても収まりが良けようと思っただけ……はあ、
- 20 ああ……気に入っていただけだと思いますか……？
- 21 ん、んう、ああ……良かったあ、嬉しいです……ん、んう、ああ
- 22 私、最初は自信なかったんですよ……はあ、ああ
- 23 先生にご指導していただけるまで、処女……でしたし。んっああ……
- 24 おまんこも窮屈で、おちんぼが奥まで入らなくて……はあ、ああ
- 25

- 1 あの時は、未熟でしたから……
- 2 先生に、「ご迷惑……いっばいかけちゃいましたよね……
- 3 はあ、ああ……んっ、んっんう、あん、ああ……
- 4 でも、今は学園のある日は必ずバイブを付けて……んう、中を刺激したり
- 5 はあ、ああ……宿題のオナニーも、言われた通り、
- 6 毎日しているんですよ……はあ、あんっ
- 7
- 8 全部、先生のおちんぽに満足していただけるような……
- 9 ああ、優等生おまんこに、なりたいからあ……
- 10 あん、はあ、ああ……んっんう、ああ……ほんと、ですか？
- 11 んっんう、あんっ、ああ……頑張って来た甲斐がありました……っ
- 12
- 13 私、先生のおちんぽにびったりな、
- 14 専用のペニスケースになれているんですね……っ、はあ、ああ……んっん、んんう
- 15 はあ、ああ……いえ、これも先生の熱心なご指導の賜物です……っ、
- 16 あんっ、ふあぁっあぁ……
- 17 私のおまんこ、おちんぽで育てて下さって、ありがとうございます……っ
- 18
- 19 はあ、ああ……んっ、んっんんう、あんっ、
- 20 ふあぁあぁあ……んちゅう、ちゅううるう、れろれろお、
- 21 んちゅう、ちゅうう……んっんっんんう、ちゅるうう、ちゅぽあ……っ
- 22 はあ、はあ……っ、あんっ、あっあぁ……っ
- 23
- 24 ふあぁあ……先生、精子……出ちゃうんですねえ
- 25 んっんう、あん、あっあぁ……ふが、

- 1 それくらい分かりますよ……はぁ、あぁ
- 2 このおまんこで、先生の精子、
- 3 数えきれないくらい搾り取ってきましたから……はぁ、あんっ
- 4
- 5 勃起おちんぼが、射精したぞうに、
- 6 びくんっびくんって震えるの、分っちゃうんです
- 7 んっんう、あぁ……私はいつでも大丈夫なので、はぁ、あぁ……
- 8 いつでも、おまんこに中出ししてくださいねえ
- 9
- 10 はぁ、あぁ…おちんぼケースとして、
- 11 射精して下さった精子も、しっかり子宮に溜めておきますから……♪
- 12 んっんう、あんっ、ふぁっあっあぁぁ、先生のおちんぼ、イキぞう……っ
- 13 んっんっあぁ、んっんっ、あっあっあぁぁ、んんう、良いですよ、先生……っ
- 14 私のおまんこに、精子びゅーしてください……っ、
- 15 あんっ、あっあっあっあぁぁぁぁ——
- 16
- 17 んんんんううう……っ、ふぁぁぁぁ……あぁぁぁぁ……っ
- 18 あぁ……はぁ、はぁ……いっぱい、熱いのドクドクうってえ……お、あぁ……
- 19 はぁ、はぁ、私…おちんぼケースなのにイっちやうなんて……
- 20 まだまだ、ですね…ん、はぁ、はぁ……ふう
- 21
- 22 ……えっ、あぁ、家庭訪問の件ですね……。
- 23 私は、いつでも大丈夫ですよ
- 24 うち、妹がいるので、ちょっと騒がしいかもですけど……
- 25 あ、はい、もちろん今日でも

1 ……ん。中のおちんぼ、落ち着いてきましたね…

2

3 そろそろ服装チェックの続き、再開しましょうか

4

5 おちんぼハメたまま……生徒を一人ずつ。

6 ムラムラしたら、いつでも穴の中、使ってくださいね

7 私のおまんこ、まだ物足りないみたいですから……ふふ

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

1 ■トラック3 『森川らいかの場合く反抗的なヤンキー少女に子作り実習補講く』

2

3 ちーっす。来てやったぞ

4 アタシ暇じゃねーから、手短に済ませろよ

5 ……んで、何だよ話って

6 ……はあ？ 罰則だあー？

7 そんな暇ねーって言ってんだろ

8 大体なんでアタシが……

9

10 チッ、めんどーなんだよ、子作り実習とか…。

11 アタシの将来に役立つもんでもねーだろうし、サボったってどうでも良いだろう？

12 アタシにはバンドがあるんだ。子作り学んだって、別に……

13 ……っ、おい…留年だけならまだしも、退学って……んだよねそれ。

14 マジで言ってるのかよ…

15

16 ……はあ、最悪。そんなことになったら、絶対親がうるせーんだよね……。

17 そつなりゃバンドの活動資金だって……チッ

18 で、何だよ、その罰則とやらは。トイレ掃除とかか？

19

20 ……あ？ てめえ、スマホいじってるじゃ——

21 あ……う。あ……ね？

22 ああ、そつだよな、全身での奉仕が罰則だってことくらい？

23 アタシでも知ってるっついの。舐めんよ

24 ん、はあ……ほら、抱きついてやるから、舐れよ

25 胸でも、尻でも……好きなら！

- 1 はあ、ん…ああ。言っただろ、暇じゃねーんだよ
- 2 ん、ちゅ、ちゅっっ……
- 3 れろあ、れるれるっ、練習にライブに…れるれるあ、
- 4 やるじと色々あんだ…んちゅっっ
- 5 れるっ、んれるあ、こんなめんどーなじと、んちゅっっ…
- 6 早く終わらせて帰ってやる…れるっ、んれるあ、れるれるっ、んちゅっっ
- 7 ちゅっ、んちゅ、ちゅっっ…れるれるっ、れるちゅっっ…っ、ちゅぽあ…
- 8 はあ、はあ……じっだ、授業サボっても、やり方くらい知ってたよ…
- 9 これで終わりだろ？ ……げっ、まだあんのか
- 10
- 11 ……はっ、子作り実習っ
- 12 しかも一カ月って……ふざけてんじゃねえぞ…っ
- 13 なんでアタシが、こんな……っ
- 14 っっ……。ほんとに、それやれば、留年しないんだな？
- 15 ……分かった。受けてやるよ
- 16
- 17 ん、ちゅ、んちゅっっ、れるれるっ、んちゅっちゅっっ
- 18 ちゅるっ……れるれるあ、んちゅっっ、ちゅぽあ…
- 19 はあ、はあ……このへるちゅーってやつも、
- 20 やるのは初めてだったが……へ、案外楽勝かもな
- 21 その子作り実習ってのも、大したことなさそうだし
- 22 なんなら、アタシのおまんこが優秀すぎて、この一回で終わるかもなっ、
- 23
- 24 んっっっ、んあっ、あっああ…んんっ、はあ、はあ…っ、くそ…っ
- 25 っっっ、バックは…んんっ、ないだろ…っ、

- 1 んあっ、あんっ、んっくう…ってめえのピストン、激しいんだよ…っ
- 2 んっんう、あっああ…んんっ、ふーっ、ふーっ
- 3
- 4 はあ、ああ…にしても、良く飽きねえよな…はあ、ああ
- 5 あんたも忙しいだろ…っ
- 6 んっんう、ああ…放課後、アタシの都合が悪いからって、
- 7 毎回空き時間に、チンコ使って…んっんう
- 8 熱血教師かよ…っ、んっんんう、
- 9 アタシみたいなやつ、ほっときゃ良いのこよ…
- 10
- 11 んっんう、今日だって、休み時間に…っ、んっんう、あんっ、あっああ…
- 12 はあ？ ちげーし、心配してんじゃなくて、いい加減うざいんだよ…っ
- 13 休み時間の度に、毎回はめやがって……んっおお、ああ…休む暇もねえ…っ
- 14 はあ、ああ…んっんんう、んあ、あんっ、あっああ…ふあっあんっ、ああ…
- 15 んな…っ、何バカなこと言ってるんだよ、
- 16 はあ、ああ…子作り実習になんか、はまるわけねーだろ…っ
- 17 んっんう、真面目かよ…っ
- 18
- 19 はあ、ああ…あんっ、んんう、くう…うるせえ…
- 20 おまんこ感じてなんか…あんっ
- 21 あっああ…んんう、くうう、これは…ちげえ
- 22 てめえが、んんう、後ろから突きまぐるから、
- 23 んんう、ぶっしても、声が…っ、んんう、押し出されて…っ
- 24 くっ、うう、んあ、あんっ、あっああ……んんうっ、ふああ…っ
- 25 んっくう…きもっじっど、言いな…声、可愛くねーし……んっんう、あんっ

1 あっああ……アタシはもっと、かっこ良くて、ロックな……っ、ああんっ
2
3 ふああっああ……んんう、違う、こんなのアタシじゃない……っ、んあっああ
4 何かの、間違いだ……んっんう、
5 ああ……チンコでよがるような、なよなよした女じゃ……
6 んんう、あんっ、あっああ……
7
8 ふあっああ……んっんっんう、んんっ、ひゃっー！
9 ちよ、おま……待て、人が……っ、んんう、くっ、ふーっ、ふーっ、うっううう
10 う……んう、うあ、うっ、ふうう……っ、うっ、うう……おっ、ううう……っ
11
12 チッ、この野郎……ん、お……っ、うっ、
13 ああ……ふーっ、ふーっ、ふーっ、ちよっとツリ聲せや……
14 んちゅ、ちゅうう、んちゅうう、れるう、んちゅうう、ちゅるうう……
15 んっんう、んむう……ちゅうう、れるれるう、れるちゅうう……っ、ちゅばあ……っ
16 はあ、はあ……んっ、ああ……誤解すんなよ……？ んっ、ああ……
17 あんな恥ずい声、聞かれたくねーただかんな……ん、んう、ああ……
18 そっじゃなきゃ、あんな媚びるように、キス……するわけねーだろ……
19 ん、んう、ああ……子作り実習なんて、
20 どうせ射精しちまえば終わりなんだからよ……
21
22 はあ、ああ……ほんとの恋人みてーに、
23 甘々のべろちゅーなんか、する必要ねーんだ
24 ん、んん、ああ……はあ、はあ……あんたが恋人とか、想像できねーしな……
25 ん、んう、あん、あっああ……くっ、また激しくしゃがって……んちゅうう

- 1 ちゅ、んちゅっ、ちゅるぅ…んぅ、れるぅ、んっんぅ
- 2 ふぁ…っ、んちゅっ
- 3
- 4 ちゅるぅ、んれるぁ、れるれるぅ、んちゅっ、ちゅっちゅっ…んん
- 5 ちゅっ…ふーっ、ふーっ、ぎゅせ…れるれるぁ、
- 6 あんただってもう限界なんだろう？ れるれるぁ
- 7
- 8 んちゅっ、ちゅっ…チンコの感じだ、
- 9 そんなら分かるんだよ…れるれるぁ、んれるぅ
- 10 ちゅっ、んむぅ…もう何回ハマたと思ってんだ……
- 11
- 12 んちゅっ、ちゅっ、じつから、早っ早っ…んちゅっ
- 13 れるれるぁ、精々、アタシのお腹じ…っぽっ……れるぅ、
- 14 れるれるぁ、れるちゅっ…っ、ちゅぽぁ……
- 15
- 16 はぁ、はぁ…っ、んっ、あんっ、ふぁぁぁ…っ
- 17 あぁぁ、ほら、邪魔者はもう帰ったから…
- 18 んんっ、アタシのおまんこじ、びゅっ…っ
- 19 んっんっ、あんっ、ふぁぁぁ……ほら、早っ…
- 20 んんっ、あんっ、あぁぁ…
- 21
- 22 っの、やっ…っ、んちゅっ、ちゅっ…
- 23 れるれるぁ、我慢してんの、知ってたからな…れるれるぁ
- 24 んちゅっ、ちゅっ、ほら、早っ早っ…っ…んちゅっ、ちゅっ、
- 25 あんたのチンコのじつから、全部バレバレなんだよ…っ

- 1 んちゅっ、ちゅっ、れるれる、んちゅっ……
- 2 んんっ、ほら、出せっ、チンロイけ……っ、んちゅっ
- 3 んちゅっ、ちゅっ、れるれる、熱いの、おまじの薬……っ
- 4
- 5 ちゅっ、ちゅっ、んんっ、んあっ、
- 6 ふあっあ……ちゅっ、んれる、れる……っ
- 7 ちゅっ……っ、んんっ、んちゅっ、ちゅっ、んん、んん、
- 8 ちゅっ、んちゅっ……っ
- 9
- 10 んんんっ、ちゅっ……っ
- 11 んんんっ、ふお……っ、ちゅっ……っ
- 12 ちゅっ……はあっ、はあ……はあ……っ、お……はあ……
- 13 ん…ちゅ。……ちゅ、んちゅ……れる……れる……
- 14 れる、ぴちゅ……れる、んちゅ……っ
- 15
- 16 ちゅっ……はあ、はあ……キス、好きだろっ。
- 17 こっした方が、手っ取り早くイっからな……そんだけ、だから
- 18 ふっ……っ、今日もんな出っが……っ
- 19
- 20 ……あ、汚した分はあんたが掃除しとけよ。
- 21 アタシは激しくすんって言ったし、関係ねーから
- 22
- 23 ……それじゃ、また明日……な
- 24
- 25

1 ■トラック4『天草なおの場合〜彼氏持ち優等生を誤認&好感度吸収で完全ENTER』

2

3 ん…？ えっ、どうして君が…？

4 ……いや、ダメというわけではないが。

5 ただ、いくら恋人同士だからって、女子更衣室にまで入るのは…

6 他の部員だって、どう思つか分からないだろう…？

7 今は私一人だけど、誰か来るかも知れないし…。

8 とにかく、ちょっと待っていてくれ

9

10 もう少しで着替え終わるから……ん、んう…

11 ひゃっ。ちょ、や…なんで匂いを…んっ

12

13 練習した後だから、汗臭いぞ…っ

14 んう、やあ……腋、なんて……そんなところ……んんっ

15 ど、どうしたんだ……んう、いつもの君らしくないぞ……んう、ふああ…

16 んんっ、胸は…んう、ダメ、だ……はあ、ああ

17 こんな、急に……んっ、もし誰か入って来たら……っ、はあ、ああ…

18 ち、違う…嫌なんじゃない……恥ずかしい、から……や、あん

19

20 んんう、なんかヘンな気が…

21 んう、はあ……こんな、積極的だったか…？

22 はあ、ああ……えっ、この、硬いの……お、おち……っ

23 んあ、♡♡♡、しなぐで……っ、んんう、だ、め……はあ、ああ

24 じじじのは、然るべき場所です、

25 ちゃんと手順を踏んでから——んちゅううー？

- 1 んちゅ、ちゅっ、ちゅる…っ
- 2 んむっ、ちゅっ…んっんむっ、…っ、ちゅばあ…っ
- 3 はあ、はあ…ああ、今の…キス…なのかな？ 舌が、にゅって入ってきて…
- 4 んむっ、ちゅ、んちゅっ…ちゅ、んむっ、んん…ちゅっ…
- 5
- 6 んっ、れるあ、れるう、れるれる…
- 7 んん、硬いの、すっい…んちゅ、お入そまで届いて…
- 8 んちゅ、ちゅっ…れるれるう、れるちゅっ、ちゅばあ…っ
- 9 はあ、はあ…もしかして、我慢…してたのかな？
- 10
- 11 だから、こんなに…
- 12 ……ん、分かった…。私の、せいだな…
- 13 彼女なのに、そういうエッチないっ！
- 14 全然してあげてなかったから…。溜まって、たんだ…
- 15 気付いてあげられなくて、ごめん…。それは、私が悪かったと思う…
- 16 だから、その…手、とかで良いなら、いっでも…
- 17
- 18 えっ
- 19 あ、あの、エッチはさすがに…ダメ、だろう…学校の中だし。
- 20 剣道部の部長としても、風紀委員長としても示しがつかない
- 21 ……いや、鍵を掛ければ良いって問題じゃ…
- 22 そもそも、私たちにはまだ早いんじゃないか…？
- 23
- 24 ……もちろんだ、キミのことは好きだ。
- 25 恋愛がダメというわけじゃなくて、私が言いたいのよ、

- 1 もっと学生らしく、健全な男女交際をするべきで——え
- 2 なんだ、そのスマホの画面……。
- 3 ヘンな模様が、ぐにゃぐにゃ歪んで——う、あ…
- 4 そつ、だ……エッチじゃなくて、
- 5 性教育……保健体育の授業のようなものじゃないか…
- 6
- 7 予習をするのは、良いことなのに……どうかしていたようだ
- 8 そこまで勉強熱心だとは……よし、私も付き合おう
- 9 えっと、座りながら…するのかわ…なるほど、対面座位…か
- 10 体位のことこそつだし、
- 11 恋人同士でするものだとは知らなかった……君は物知りだな
- 12
- 13 えっと、ぎゅーって…。これで良いのかわ…
- 14 ……抱き合いながらなんて、ほんとにそつという体位なんだな…
- 15 ……いや、恥ずかしいだけだ。
- 16 キミに包まれているように、おしん安心する
- 17 このまま、腰を下ろして……中、に……
- 18
- 19 ん、んう、んあ……ふあああ
- 20 はあ、はあ……。入ったな……ん、はあ
- 21 ……え？ ああ、キミには言っていないかったか
- 22 先生に、指導を受けているんだ。
- 23 けど、恋人同士でするのは初めてだから…
- 24 ……ん？ 何かおかしいなことも言ったかわ…
- 25 それじゃあ、動かせ……ん、んう

- 1 はあ、ああ……ん、んう、んあ、ああ……ん、んう、はあ
- 2 これが、対面座位か……ん、んう、動きにくいな……はあ、ああ
- 3 だけど、密着感があつて……ん、はあ、あつたかい……
- 4
- 5 はあ、ああ……うん、気持ち良いよ……はあ、ああ
- 6 太いおちんちんも、ヌルヌルの中で擦れて……はあ、ああ……
- 7 快感が、高まっているんだな……ん、んう、ああ
- 8 このままピストンを繰り返していれば、絶頂して……あんっ、
- 9 もっと気持ち良くなるんだろうっ。
- 10 はあ、ああ……でも、それだけじゃ、ダメだ……ん、はあ
- 11 今、こうして学んでいるのは、
- 12 恋人同士のエッチなんだからな……ん、はあ……はあ
- 13
- 14 ん、ああ……好き。ん、ちゅ……
- 15 んちゅ、ちゅ……ちゅ、ちゅるう……んう、んちゅっちゅうう……はあ
- 16 好き、ちゅうう、好き……好きだ、れるれるう、れるちゅうう……っ
- 17 ちゅぱあ……はあ、ああ……んっ、んあ、ああ……気持ち良い
- 18 もっと、おちんちん、んう、あんっ、
- 19 いっぱい……はあ、ああ……ん、んう、ああ
- 20
- 21 はあ、はあ……え、あれ？ 先……生？
- 22 ん、んう、あん、はあ、ああ……え、えっ……？
- 23 どうして、先生がここに……んっ、んう、今まで、私……何を……あんっ
- 24 どうしてこんなこと……っ、んっああ、んんう、先生っ、ダメです……っ
- 25 先生と生徒が、エッチ、なんて……あんっ、んんっ、んあ、

1 突き上げるの、やめてください……
2 はあ、ああ……だって、これは指導じゃないから……
3 んんう、恋人同士のエッチは、先生とは……したくない、です……
4 ん、んう、はあ、ああ……ん、んう、だ、めえ……
5 ほんとに、これ以上は……んっんう、イっちゃう、からあ……
6 はあ、ああ……あんっ、ふあっあっああ、
7 んんんう、イきたく、ない……なのに……
8 んっんう、んあ、あんっ、あっあっあっあああ——
9
10 ふああああ……っ、んんんんう……っ！
11 うあ……っ、あああ……はあ……はあ……はあ……
12 なんで、好きでもない人と、こんな……。あれ？
13 ……いえ、その……たぶん、気のせい……？ だと思っんですけど……
14 ……は？ なんで、そんなこと聞くんですか？
15 先生なんかより、彼の方が好きに決まって——え？ どう、して……
16 先生のこと、少し好きになりかけてる……？ 逆に、彼への好意が薄れて……
17 ……嘘。イくと、好意が移る催眠？ そんなもの、あるわけない……
18
19 なのに、どうして……ん、んう、はあ、ああ……ダメ、動かないで……
20 んんうっ、催眠なんて、訳の分からないものにかかるわけが……ああんっ
21
22 うっ、くうう……んっんう、あんっ、あっああ……んんう、はあ、ああ……
23 なんか、さつきよりも、んんう、感じて……っ、んんっ、あんっ、あっああ
24 私の身体に、何……したんですか……っんっんう、はあ、ああ……んっ、んんう
25 んっんう、くっ、やめてください……近づかないで……

- 1 んっんう、あ——ちゅうう、んちゅっ
- 2 ちゅうう、ふあああ…れるお、んちゅ…れるれるう、んむう…?
- 3 ちゅばあ…っ、はあ、はあ……おかしい
- 4 先生との、キスなのに……んんう
- 5 恋人とした時のような、甘い感じが…
- 6 ん、んう、あん、あっああ……や、だめ…んんう
- 7 また、来ちやう…っ、はあ、ああ…んっ
- 8 んう、くっ、うっ、んう、うあっああ…
- 9 だ、めええ……っ、んっんんう、違う、好きじゃない…っ
- 10 こんなおちんちんなんか、好きじゃ——
- 11
- 12 んんんうううっ！ うあ……っ、ふあああ……っ
- 13 はあ、はあ……あ、あああ……！ 本当……なのか？
- 14
- 15 私、先生のこと、好きに——んんうっ
- 16 あんっ、あっあっああ…んあっ、あっああ……これが、催眠？
- 17 自分の気持ち、勝手に変わって……んんう、はあ、ああ
- 18 そんなの、認めない……ん、んう、ああ、この想いは、私のものだ…っ
- 19 はあ、ああ…精神、集中…っ、あんっ、くっうう、好きになっちゃ、ダメ…っ
- 20
- 21 ダメ、なのにい……はあ、ああ…んっ、んんう、うあっああっ
- 22 はあ、はあ…っ、んっんう、あんっ、あっああ…
- 23 催眠なんて、訳の分からないものに、負けるのか…っー？
- 24 でも、イったら好きになって…んんう、気持ち良いの、止まなくなて…っ
- 25 はあ、ああ…あっあっあああ、また、イくううう……っ

1 んんんんううう、ふああああ……っ
2 ああ…んっ、んう、はあ、はあ……ああ、嫌…だったか？
3 んっんう、ああ…あれ？
4
5 彼が恋人のはずなのに、先生の方が……全然…
6 んう、ああ、はあ、ああ……なんで…
7 あんなに抵抗しようとしたのが、分かんなくなっちゃった…
8
9 んっ、んう、あんっ、あっああ……先生、好き…です
10
11 あっああ…はあ、ああ……ちゅ、んちゅっ、ちゅうう
12 んれるう、れるれるお、んう、んちゅうう…やっぱり、間違いない…んちゅうう
13 れるれるう、私は、この人が好き…んちゅ、ちゅうう、
14 先生のおちんちんで、ちゅうう…おまんこぶボブボしてほしいです…っ
15 んちゅうう、ちゅるるう、ちゅばあ…っ
16
17 はあ、ああ…んっ、んんう、あああ……べろちゅー、気持ち良い……
18 んう、あんっ、蕩けちゃいそう…
19 はあ、ああ…あんっ、あっああ……私、誤解していたようです…
20 んっんう、大好きな人とのセックスは、健全な交際の範囲だから…ああんっ
21 もっと奥、ずんずんって突いてください…っ、はあ、ああ…あんっ
22 私のおまんこ、おちんちんで満たしてえ…っ
23
24 んあっ、あんっ、あっあっあああ
25 ずっじ…あんっ、んあっああ…また、イくら、イっちゃいますう…っ

- 1 んあっ、あんっ、ふあっあっあああ、
- 2 おまんじやくうう、んんんうう……っ！ おお……
- 3 あっ……あああああ……っ、ふあああ……っ、おお……
- 4
- 5 はあ、はあ、はあ、ああ……。ん、はあ……
- 6 先生え……？ どうして、動かないんですか？
- 7 おまんじ、ずぼずぼして良いんですよ。
- 8
- 9 ……そんな……意地悪言わないでください。
- 10 私にはもう、先生しかいないんです……
- 11 ……え。彼……は……。ふふ、そんなの当たり前じゃないですか。
- 12 もう、あんなのどうでも良いんです
- 13 自分でも、なんで好きになっていたのか、分かりません……
- 14
- 15 ……ふふ、恋人にするなら、先生のような年上で、
- 16 おちんちんが遅しくて、エッチの上手い男の人じゃないと……
- 17
- 18 ん、んう、はあ、ああ……だから、先生からも動いてください……っ
- 19 んっんう、お願いしますっ
- 20 先生の、子宮に響くピストン、おまんじこぼしっんです……っ
- 21
- 22 んっんう、あんっあっああ
- 23 あんななよなよした男と、一生話しませんから……
- 24 んっんう、あんっ、あっああ
- 25 お預け、しないでください……んっんうう、はあ……

1 他にも、先生のしてほしいことなら、なんだって…
2
3 んっんう、あんっ、ふぁっあっあぁ……はい、なりますっ、
4 私を先生だけのオナホペットにしてください…っ
5 んっんう、あぁ…だから、おちんちんのピストン、
6 先生からもお…っ、はぁ、はぁ、あぁ…
7
8 んんんっ、んぁっ、あんっ、あっあぁぁ、おちんちん来たぁ…っ
9 はぁ、あぁ…んんう、あんっ、うぁっあっあぁ…
10 んんう、先生、好き…大好きい…
11 んちゅうう、ちゅうう、んちゅっ、ちゅうう…んっんう、ちゅるう…
12 れるれるう、れるちゅうう、好きい、ちゅっ、んちゅうう、ちゅばぁ…
13
14 はぁ、はぁ…あんっ、あっあぁ……えっ、
15 あぁ、ほんとだ、スマホ…震えていますね
16 んっんう、あぁ…そっついえば、今日云う約束、してたから……んっんう
17
18 ええっ、もちろん、もう恋人じゃありませんから……出る意味ないですよね
19 んっはぁ…今は、先生におちんちんをハメてもらっている、大事な時間ですから…
20 ふぁっあぁ…どっでもいっいっどっ、時間を無駄にしなくあります…
21
22 んっんう、あんっ、あっあぁ…先生、好きい……んちゅうう
23 ちゅっ、んちゅうう、おちんちん大好きです……れるれるう、んちゅうう
24 ちゅるう、れるれるお、ずっと私ばかりイってたから、
25 んちゅうう、先生の精子も、おまんこにくっだわい……ちゅるう

1 れるれるも、子宮が孕んじやうくらい濃いの、んちゆう
2 私の一番奥にびゆうって、れるれるも、種付けお願いします…っ
3 んちゆう、んちゆう、ちゆう、れるれる、
4 好き、好き好き、んちゆう、大好きい…んちゆう
5 んちゆう、ちゆう、んっんんん
6 ちゆう、ちゆう、んちゆう…っ
7
8 んんんん…っ、おお…っ、んんんん…っ！
9 ちゅぱあ…はあ、はあ…ああ…こんな、たくさん…ああ
10
11 先生、大好きです…。
12 私の恋人になってほしいなんて、贅沢なこと言いませんから…
13 これからも、性欲が溜まった時は、私の性処理用おまんこを使ってください…
14 私は、先生専用のオナホペットですから…っふ
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25

1 ■トラック5『実験記録、催眠アプリの経過観察』

- 2
- 3
- 4
- 5 …あの男にアプリを渡してから、数カ月
- 6 柘沢朱音、森川らいか、天草なお……それぞれ服従率100%
- 7 他の生徒にも催眠を施し、アプリを活用している…
- 8 おかげでデータの収集も順調だ……
- 9 なかなか優秀なサンプルじゃないですか
- 10
- 11 特に、あれだけ反抗心があった森川らいかを、
- 12 アプリの最小限の使用で墮とすとは……
- 13 これほどのペースなら、今後とも期待できそうです……ひひ
- 14 私を失望させないでくださいよ、先生……
- 15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

1 ■トラック6『お疲れの先生を癒やす実況副音声付きVFエブリラフシーズンへ』

2 (朱音) ご主人様、失礼します

3
4 (らいか) …ちーっす

5
6 (朱音) お時間作っていただいて、ありがとうございます。

7 今日はその、二人でご奉仕をいたしました

8 ご主人様には、いつも子作り指導を、

9 たくさんの子種を注いで下さっていますから、

10 そのお礼ができればと。らいかさんとも、そう話し合って決めたいです

11
12 (らいか) アタシは別にどっちでも良かったんだけど……

13 朱音がしつこくてな。仕方なくだよ

14 (朱音) えー。そんなこと言って、けっこう乗り気だったような……

15
16 (らいか) う、うるせー。とにかく、するんだろ……

17 二人で、ダブルパイズリフェラ

18 ほら、前の子作り実習の時、してほしうって言ってただろ

19 あれを朱音が覚えててな……った、

20 この後予定あるっての、””、””のアタシが……

21
22 (朱音) ふーん。なら、他の子に頼もうかな。

23 らいかさんじゃなくても、パイズリでいいから

24
25 (らいか) なっ……誰もやらないうちは言ってるねーだろ。するよ、アタシも

- 1 (朱音) もう、素直じゃないんだから
- 2 (朱音) それじゃあご主人様、早速おちんぼ出しちゃいますね
- 3 (朱音) ん、しょ……わぁ、相変わらざるの逞しい大人おちんぼですねえ
- 4
- 5 (らいか) んぐ……ヒロイチンコしやがって。誘ってんのかよ…
- 6
- 7 (朱音) らいかさん、がっついちゃダメだよ？
- 8 これはご主人様へのご奉仕なんだから
- 9
- 10 (らいか) 分かってるって……おっぱいで、挟むんだろ
- 11
- 12 (朱音) そっだよ。息を合わせて、両側から押し付けるように……せーの
- 13
- 14 (朱音&らいか) きゅっくっくううう——
- 15
- 16 (朱音) ふふ、柔らかいですか？ 私たちのおっぱい
- 17 クラスの中でも、大きい方ですよね？
- 18 ご主人様のおちんぼを、谷間の奥で挟めちゃうくらい
- 19
- 20 (らいか) ん……。アタシも、胸はけっこう自信あるからよ……
- 21 気持ち良くなれるんじゃないかねえの
- 22
- 23 (らいか) 今まで、大きいだけで邪魔だったけど、
- 24 こんな使い方があるなら……ん、れえ。このサイズも悪くないのかもな
- 25

1 (朱音) あ、らいかさん抜け駆け…っ

2 ずるい、おちんぼ一人占めしちゃダメだよ…っ

3 ん、んう、ご主人様のおちんぼは、

4 皆のものなんだから…ん、しょ…ん、ん…

5 気持ち良いですか、ご主人様。このおちんぼは、

6 パイズリご奉仕をするために、ごここまで成長したんですよ…

7

8 (らいか) …アタシだって、負けてないっていうか……むしろ。

9

大きさは勝ってるよな

10

11 (朱音) な…っ、大きさだけじゃなくて、パイズリには柔らかさとか、

12 肌の質感も大事だと思います。そうですよね、ご主人様

13 私の柔らかくて、すすすべのおっぱい……んう、

14 おちんぼの隅々までご堪能してください

15

16 (らいか) …ふん、アタシも肌のケアくらいっせよっ。

17

パイズリなんて、大きさが全てだろ。ほら、ぎゅーっ

18

19 (朱音) ああ、おちんぼ盗らないで…っ

20 ご主人様が望んでいるのはダブルパイズリなんだから。協力しなさい

21 (朱音) …らいかさん、色々文句言ってるけど、

22 けっこう食い意地張ってるよね…

23

24 (らいか) ち、違う……わないか。でも、それは朱音も同じだろ。

25

最近、他のペットが増えて、不満そうにしてたじゃねーか

1 (朱音) それは…仕方ないじゃないですか。

2 精液の取り分が少なくなってしまうし…

3 ご主人様、申し訳ございません…。

4 でも、ご主人様が決めたことでしたら、なんでも受け入れますので…

5 それに、ご主人様の一番は私だって、ちゃんと分かっていますから…♪

6
7 (らいか) はあ？ そんなの誰が決めたんだよ。アタシかもしれないーだろ

8
9 (朱音) そ、そんなわけない…っ。だって、私の方が…あ、

10 すみません。ペット同士、仲良く…ですよ

11
12 (らいか) ちえ……。まあ、喧嘩っつーより、そもそもの原因は先生だからなあ

13 誰かを贖肩しないで、ペット全員に精液を中出ししてくれたら、

14 何の文句もないっというか…

15
16 (朱音) もう、失礼でしょ。……私だって、そうしてほしいけど……

17 ご主人様の負担が大きくなってしまっじゃないですか

18 このパイズリご奉仕だって……んう、日々私たちのために、

19 貴重な精液を分けて下さっていることへのお礼なのに……ん、んう

20
21 (朱音) そんなこと言ったら、おちんぼに媚びて、

22 おねだりしてるみたいになっちゃっう……

23
24 (らいか) それもそっつだな……。

25 ま、これからは先生のペースで中出ししてくれたら良いからが、

- 1 (らいか) とりあえず今は、おっぱいの間と……ん、
2 チンコ気持ち良くなってくれよ……
3 ん、んう、はぁ。滑りが足りなくなってきたから、
4 今度は二人で垂らすか…
5
6 (朱音) ふふ、そっだね。せーの
7
8 (朱音&らいか) ん、れえ……
9
10 (らいか) ん、はぁ……これで、滑り易くなったな
11
12 (朱音) 唾液でヌルヌルのおちんぼ、私たちのおっぱいど、
13 もおっと揉みくちやにしちゃいますねえ
14
15 (朱音&らいか) ん、んう……はぁ。
16 ん、ん……ん。はぁ、ん……ん、んう……はぁ
17
18 (らいか) お…チンコ、ムクムクってきてきたな
19 (朱音) 谷間の奥から、パンパンの亀頭が顔を出して……
20 ふふ、舐めて欲しそうですね…
21
22 (らいか) ご希望はダブルパイズリフェラだからな。
23 もちろん、舐めてやるよ…
24 んれろお、れろう、れろお、れろれろお…
25

- 1 (朱音) あ、また勝手に……。もぐ……。れるお、れるう、れるれろお
- 2 お口のご奉仕も、タイミング合わせようって言ったのに……。れるお、
- 3 れるるう、れるれろお……
- 4
- 5 (らいか) まあまあ、細かいことは良いじゃんか……
- 6 れるお、れるう、んれるお、れるうれろお
- 7
- 8 (朱音&らいか) んれるお、れるう、れるう、れるれろお、
- 9 んれるるう……。れるれろお、れるろお……
- 10
- 11 (朱音) あ、そういえば……。ご主人様、ここからのご奉仕は、
- 12 こちらのヘッドフォンをつけてから、お楽しみいただけますか？
- 13
- 14 (らいか) ……そ、いつもアタシが付けてるやつな。
- 15 まあ、付けてみれば分かるって。な……？
- 16
- 17 (朱音) ご主人様、ぜひお願いします。これもご奉仕の一環なので
- 18
- 19 (らいか) ……朱音に言われたらするんだな。なんか複雑……
- 20
- 21 (朱音) まあまあ。それじゃあ、音源を流しますね。私も、ご奉仕を……
- 22 ……ご主人様、聞こえますか？
- 23
- 24 (らいか) 聞こえている、よな。
- 25

- 1 (朱音) 放送部員に頼んで、収録機材をお借りしました。
- 2 お口で「奉仕する時は、喋りにくいので…
- 3
- 4 (らいか) こうして、あらかじめ声を録音しておいたってわけ。
- 5 その方が、素直に話せそうだし…
- 6
- 7 (朱音) ふふ。では、そろそろ本題に移りましょう。
- 8 今、この音声を聴いているという事は、「ご主人様のおちんぼは、
- 9 私たちの両胸に挟まれながら、ぎゅううって包まれて…
- 10
- 11 (らいか) 舌も、チンコの上を這い回ってるんじゃないか…?
- 12
- 13 (朱音) きっと、二人ともエッチな舌遣いをしているんでしょっね…
- 14 まずは、舌だけで先っぽを…ねっこの
- 15
- 16 (らいか) うっも、ここから濃い精液が出るんだよなあって、意識しながら…
- 17
- 18 (朱音) もちろん、感謝の気持ちを込めて……丁寧に
- 19 うっも、中出ししてくれてありがとっ「じゃあね。
- 20 貴重な予種を、子宮に分け与えてくれてありがとっ「じゃあね…
- 21
- 22 (らいか) 中に熱いの入れて、嬉しっ……
- 23 ありがとっ「じゃあね、ご主人様…っって
- 24 そう思いながら、先っぽの口を二人で舐めて……
- 25 カリのとっこも、舌を這わせて…

- 1
2 (朱音) おちんぼの味と、濃い匂いまで感じながら、ねちっこく……
3 ほら、とっつてもエッチですよねえ。
4 きっと、ご主人様にしか見せちゃいけない顔、してると思います……
5
6 (らいか) ご主人様のチンコを前にすると、
7 へその下が妙に疼いて……雌になっちまうんだよね……
8 頭ん中、もうチンコのことしか考えられなくなって……
9 夢中で、しゃぶりついちゃう……
10
11 (朱音) そうして先っぽを舐め回した後は、
12 ぷつぷつと羊の部分に下りていつって……絡みついて……
13
14 (らいか) 玉のところを、舌先で転がすように……
15
16 (朱音) 甘いキャンディーでも舐めるみたいに……ぺろぺろ
17
18 (らいか) ねるねる……
19
20 (朱音) ああ、ここがご主人様のタマタマ……
21 子作りのための、大事な精子の詰まったところ……
22
23 (らいか) つつもぷろぷろで濃厚な各種を作って下れる、
24 あひがむにじやうまおして、感謝……
25

- 1 (朱音) 感謝しながら、玉の裏側まで……
- 2 舌で触れてないところが見てからないくらい、丹念に…
- 3 ふう、おちんぼイライラしてききましたか？
- 4 左右からねっとり責められて…タマタマの中、
精子がべっぴんしちゃってますよねえ
- 5
- 6
- 7 (らいか) 言っとくけど、アタシらだって、同じだから…。
- 8 早くチンコしゃぶりたくて、精子搾り取りたくて、
絶対ぐずぐずしてる…
- 9
- 10 だから、ご主人様からの許可を貰う前に、
どっちか我慢できなくなっ…
- 11
- 12
- 13 (らいか) たぶん、朱音から…口に唾え込んで…しゅぽしゅぽっ…
- 14 (朱音) もう、私はそんなにやらしくないよう…。
- 15 ご主人様の「よし」がないのに、おちんぼ唾えちゃうなんて、
そんな…はしたない…
- 16
- 17
- 18 (らいか) それは、実際やってみてからの楽しみだな…
- 19 あとはもう、交互にしゃぶっ合っ…
- 20 中の精液を搾り出すこと、唇を吸っ付かせて…
- 21
- 22 (朱音) いやらしい顔をしながら、ご主人様の逞しい勃起おちんぼ、
味わい尽くしちゃってます…
- 23
- 24 激しく吸い付いて、下品な音を立てながら、精子欲しい、子種欲しい…
- 25 おちんぼ大好き、ご主人様大好きい…って

- 1 (らいか) …アタシも、チンコ…好き。大好き。ご主人様、大好き…
- 2
- 3 (朱音) 好き…好き…好き…好きい…大好き…好き、好き…大好き…
- 4
- 5 (らいか) す、好き…好き…好きい…大好き…好き、好き…大好き…
- 6
- 7 (朱音&らいか) 好き…好き…好き…好き…好き…好き…好き…
- 8 (朱音) どうでしょう…?
- 9 私たちの感謝の気持ち、おちんぽに伝わりましたか？
- 10
- 11 (らいか) そろそろ出そうになっているか…もう、イっちゃってるかも
- 12
- 13 (朱音) ふふ。もしイってなかったら、
最後はカウントダウンに合わせて、精液出してくださいね
- 14
- 15 では、五つ数えますよ…5
- 16
- 17 (らいか) ……4
- 18 (朱音) ……3
- 19 (らいか) ……2
- 20 (朱音) ……1
(朱音&らいか) ……ちんぽ
- 21
- 22 (朱音&らいか) ひゅっひゅんんん、ひゅんんんん、ひゅーひゅんんん
- 23
- 24 (朱音) んんんうう、んむっ、ちゅんんんんん、ちゅんんんん…っ…
- 25

1 (らいか) あ、おひさ、アタシもよじやあ……

2

3 (朱音) んんう、んむ、ちゆっ、ちゆうう……れろあ、

4 れるう、れろ……れろ……ぴちや、ちゆうう……

5

6 (らいか) んちゆうう、ちゆるうう……れるう、れろあ、れるれるう、

7 んちゆうう……ふーっ、ふーっ、んちゆうう、ちゆばあ……

8

9 (朱音&らいか) はあ、はあ、はあ……

10

11 (朱音) ご主人様、おちんぼご満足いただけましたか……?

12

13 (らいか) ……ふふ、良かった

14 って言っても、アタシらも精子貰って、

15 めっちゃ満たされちゃったけどな……

16

17 (朱音) そつ言われてみると……ふふ、結局いつも通りになっちゃいましたね

18 なっとり濃厚な精子、美味しかったです。

19 いつもありがとうございます……

20

21 (朱音&らいか) ご主人様……♪

22

23

24

25

- 1 ■「トラック7『更衣室で性指導く着替え中の生徒たちをハメ比べ』
- 2
- 3 あ、「ご主人様。よろこそ剣道部へ
- 4 ……こと、すみません、部員の前なので、先生とお呼びした方が良いでしょうね
- 5 わあ、先生。こちらにどうい
- 6
- 7 まだ練習を始める前だったので、ちょうど良かったです。
- 8 ぜひ、先生に練習風景を見ていただければと…
- 9 ……え、指導までしていただけるんですか？
- 10 ありがとうございます、部員もますます気合が入るかと思えます
- 11 ……あ、一部の部員はまだ着替え中かと……。「ご案内しますか？」
- 12
- 13 ……では、更衣室にまいるまじょう。1つの奥の部屋です
- 14
- 15 皆、先生が見学に来たぞ。
- 16 なんと、特別な稽古まで付けて下着るぞうだ
- 17 だらだら着替えてないで、早く道着に…。え、ああ、はい。
- 18 防具は付けないで良いらう
- 19 それと、お前たちの身体を近くで見たいぞうだ。
- 20 下着姿のまま、気を付けの姿勢を取るよらう
- 21
- 22 (小柄元気) はいっ、部長、1ーびあかっ。
- 23
- 24 (男嫌い) うお、あの…下着のままは、恥ぢかっらとびあけ
- 25

- 1 (大和撫子) いくら先生とはいえ、男性の前で肌を晒すのは……
- 2 (男嫌い) それに、なんか目つきが……ちよつと……
- 3
- 4 何を言っ？ 道着に着替えたら、身体つきが分からないだろう
- 5 先生がわざわざ、狭い女子更衣室にまで足を運んで下さったんだ、
- 6 失礼のないように。返事は？
- 7
- 8 (部員全員) はい
- 9
- 10 ……よう。では、先生……ゆっくゆっく見てだわ
- 11 ……おお、さすがこしゅじ——先生だ。目つきが鋭い……
- 12 どうでしょう、うちの部員は
- 13 ……あ、はい。剣道部ですから、みんな体を鍛えています
- 14 未熟な子はいませんが、日々トレーニングに励んでいます……
- 15 ……あ。おすすめは……そうですね
- 16 特にこの三人が試合でも結果を出していますし、将来性もあるかと
- 17 ……お気に召しましたか？
- 18
- 19 よし、お前たち三人、付いて来い。
- 20 先生が特別指導をして下さるぞうだ
- 21 道着は……不要らしい
- 22
- 23 さ、先生、こちらへ……
- 24
- 25 では、特別指導の内容だが……

- 1 ん…。この、おちんちんを使って指導してやることになった
- 2 先生、まずはこの子からお願います
- 3 さ、下着を脱いで壁に手をくっつけて。言われる前に行動しないとダメだよ
- 4
- 5 (小柄元気) えっと、これで良いんですか？
- 6
- 7 ああ。お前たちも、下着を下ろして待っているように
- 8
- 9 (小柄元気) …あ、んう、先生の入って、来るう……んんんうう
- 10
- 11 お、根元まで入ったな。さあ、先生、手加減は要りません。
- 12 思う存分、扱いてやってください…っ
- 13
- 14 …先生、彼女はいかがでしょうか
- 15 小柄ながら、運動神経に優れ、その竹刀捌きには目を見張るものがあります
- 16 部のムードメーカーで、笑顔の愛らしい少女…といった印象ですが
- 17 おまんこの具合は、どうでしょう。
- 18
- 19 おそろしく、その体格通り、中は狭く…
- 20 おちんちんをきつく締め上げて来るのではないのでしょうか
- 21 剣道一筋で、まだ恋愛感情を良く理解していない節があるので、
- 22 処女かと思いますが…
- 23 ……ふう、やはりそうでしたか。
- 24 彼女は負けん気が強いですから、先生の、その逞しいおちんちんで、
- 25 処女おまんこをしっかりと躡けていただけると助かります…

- 1 彼女には、年相応の恥じらいが欠けていましたので。
- 2 先生のおちんちんのおかげで、自分が雌であることを自覚できるのでは…と
- 3 ふふ、可愛らしい声ですね…。
- 4 先生のおちんちんを挿入されて、雌にならない女子はいません
- 5 さあ、先生…そろそろ、次の生徒の「」指導を…
- 6
- 7 (小柄元気) んあっ、ああ…
- 8 (小柄元気) んあ、はあ……はあ、
- 9 これが、男の人のおちんちん……ふっつと、すこかったなあ…
- 10 はあ、はあ……また、お願いしますね、先生っ
- 11
- 12 (男嫌い) …あの、私は遠慮してもいいですか。
- 13 こんなの、剣道とは関係ない気がします…
- 14
- 15 先生、すみません、この子は男性が苦手です…
- 16 ……あ、そうですよね。苦手だからと言っっ
- 17 逃げ続けているのは成長できない…。それは剣道においても同じ
- 18 先生、どうか彼女にも特別指導をお願いします…っ
- 19
- 20 (男嫌い) ちょっと、話聞いてたんですか？
- 21 私はいらないうって——いっっ、ちめ——んあああっ
- 22
- 23 さすが先生、見事な挿入です。抵抗する隙を与えず、一気に奥まで…
- 24 彼女のおまんこは、いかがでしょうか。
- 25 男性が苦手と言っていたので、あまり濡れていないかもしれません…

- 1 え、あ、本当ですね……。ピストンするたびに、愛液が飛び散って……。すっ
- 2 彼女からも雌の反応を引き出すとは…素晴らしい手腕です
- 3
- 4 …先生。今日の指導を拜見して、一つ気づいたことがあります
- 5 彼女は男が嫌いだと、嫌悪するような素振りを見せていましたが……
- 6 ただの食わず嫌いだっただけです
- 7
- 8 つまり、男性が嫌いな雌なんて存在しない、ということ
- 9 どのような女性にも、おちんちんを受け入れるための交尾穴があります
- 10 体の構造上、雌は男性を受け入れるしかないんです…
- 11 あれだけ男を嫌っていた彼女も、今ではこの通り…
- 12
- 13 おちんちんを深く挿入され、
- 14 だらしく胸を揺らしながら、媚びた声を上げています
- 15 元から男性受けをするような、
- 16 やらしい身体つきをしていましたから、当然の結果ですね
- 17
- 18 あんな、性欲を刺激する胸や太ももをしておきながら、
- 19 男が嫌いだなんて…最初からおかしいと思っていたんです
- 20 □ではあれこれ言おうと、結局は彼女も雌…
- 21 男性を悦ばせ、子種を受け入れ、孕むための存在だったんですね……。ふふ
- 22
- 23 (男嫌い) ああっ、はあ……。はあ……。あ、はあ……。これが、
- 24 男性との…行為……。はあ、はあ……。指導、ありがとっ！ げんましました……
- 25

- 1 さあ、先生、最後の生徒が待っています。そろそろ、次のおまんこ……
- 2
- 3 (大和撫子) あ、あの、私……(こいつ)とは初めてで……大丈夫でしょうか？
- 4
- 5 ああ、先生は生徒を導くプロだ、安心して身体を任せればいい
- 6
- 7 (大和撫子) では、その……先生。(こいつ)指導、よろしくお願いします……
- 8
- 9 (大和撫子) ん、んう、ふあああ……
- 10 はあ、はあ……これが、男性の……お、おちんちん……
- 11 こんなに太くて、逞しいものが、
- 12 ああ……私のお腹に……んんう……。こんなの初めてえ
- 13
- 14 ……ふふ、彼女は世間知らずのお嬢様でして……。
- 15 初心なところがあったんですけど、
- 16 先生のおちんちに掛かれば、関係ありませんね
- 17 私と同じように、家柄が良くてもただの雌……
- 18 おちんちんを入れられれば、悦ぶものです
- 19
- 20 確か彼女は、剣道を通して武道の精神を学びたいと言っていました、
- 21 こんなに乱れているようでは、まだまだですね
- 22 いついかなる時でも、平常心を失ってはいけない(こいつ)……
- 23 ああ、もうおちんちんの虜になって……
- 24 心も、おまんこも……ぐちゃぐちゃにかき乱われています……
- 25

1 これではいけませんね

2 先生さえ宜しければ、これからも彼女を鍛えてやってください

3 良家のお嬢様が、こんな下品な声を……。はしたない

4 ……おや、先生、そろそろ射精しますか？

5 では、おまんこをハメ比べた三人の中から、一人を選んでいただければと…

6

7 ……ふふ、二番目の子ですか。ちょうど良いですね

8 彼女のおまんこに子種を注ぎ、身も心も、雌にしてみましたしょう

9

10 (大和撫子) んあ、ああ……おちんちん、もっと欲しかったのに…

11

12 (男嫌い) んんんっ、あああ……

13 はあ、はあ…あんっ、んあっ、ああ……

14 先生、私が間違っていました…っ

15 男性が嫌いだなんで、んんう、あり得ない…っ…っ…

16 んあっ、あんっ、ああ…

17 おちんちん、こんなに気持ち良いのに……はあ、ああ…んっんんう

18 大好き…っ、大好きです…っ、

19 おっおお、ああ…おちんちん、大好き…っ

20 んあっ、あんっ、ふあっああ……先生、

21 このまま子種を注いでください…っ

22 私のおまんこ、んんう、雌にしてください…っ

23

24 ぐあ、先生…一番奥に、濃厚な精液を…びゅっうっうってえ

25 はあ、はあ……先生、私も後で…良いですか？

1 こんな、激しい指導を側で見ていたら、おまんこが疼いてしまって…
2 はあ、はあ……ああ、ありがとうございます。1主人様、大好きです…っ
3
4 (男嫌い) んんんううう……っ、おお……っ、ふあああ……
5 はあ、はあ、はあ……ああ、1これが、男性の……子種…
6 子宮が、満たされて……んう、あったかい…
7 ああ…これが、雌に生まれた、幸せ……
8 先生、1ご指導ありがとうございます…
9
10 (小柄元気&大和撫子) ありがとうございます…
11 1これからも指導、よろしく願います
12
13 まづは、私に……。ちゅっ。ふふ
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25

1 ■「ラック8」文化祭で性指導〜VIP 限定媚び媚びハーレム奉仕〜

2

3 (朱音、らいか、なお) お帰りのなごいませ、ご主人様

4

5 (朱音) こうして文化祭を開催できたのも、ご主人様のおかげです

6

せっかくお越し下さったので、私が専属メイドとしてご奉仕を……

7

8 (らいか) また抜け駆けしようとして、ずりーぞ。

9

アタシもメイドなんだから、奉仕させるよ

10

11 (なお) 私だって、ご主人様に尽くしたいんだが……。

12

良いですよね、ご主人様

13

14 (朱音) ……え、裏メニュー？

15

ああ、そういうえば、ご主人様限定で、そのようなものがありましたね

16

17 (らいか) ちえ、一人占めできると思ったのに……

18

19 (朱音) まあまあ、皆で協力して、

20

ご主人様に満足していただけるように、頑張ろうっ？

21

それではご主人様、ご注文はスペシャルハメ比べコースで宜しいですね？

22

……かふ。では、あちらのVIP席にご案内いたします

23

24 (なお) ここは、ご主人様しか踏み入ることのできない、特別な接待ルームです

25

1 (朱音) VIP席にはベッドを用意していますのよ、

2 好きな時に性奴隷メイドのおまんこを挿し上げるじじがどきまおあ…

3
4 (なお) ご主人様、最初は誰のおまんこを味わいますか？

5
6 (朱音) 私、ですよね…？

7
8 (らいか) お前ら、そんな近くに…っ。くっ、出遅れたか。

9 「ご主人様、アタシでも良いぢや……子作り、しないのか？」

10
11 (なお) 私を選んでくれますよね？

12
13 (朱音) 私、ですよ。んれるお、れるう、れるお、れるれるお

14
15 (朱音&なお) んれるう、れるお、れるう、れるれるお、

16 んれるう、れるお…れるれるれるお……はあ

17
18 (朱音) むう…

19
20 (なお) ひん、一番手は私のよじぢやね。

21 「ご指名いただき、ありがとうございます

22
23 (なお) では、早速…いつでもエッチしていただければよめ、

24 専用の下着を穿いていますのよ。

25 むじぢ、この穴からおちんちんを入れてください

1 (なお) ……ん、んんう、ふあああ……

2 はあ、ああ……ご主人様のおちんちん、好きい…

3 私のおまんこ、どっこ奥の方まで召し上がって下さい……

4 (なお) んあ、あんっ、ふあっああ…んんう、はあ、ああ…気持ち良い…っ

5 もっと、もっとお…んあっ、あんっ、

6 子宮までずぼずぼハメて、孕ませて下さい…っ

7 (朱音) ふふ、みんなが見てる前で、

8 メイドおまんこに種付けエッチ…さすがはご主人様です

9 (朱音) ああ、なんて男らしい大胆な腰振り……。

10 側で見ているだけで、おまんこが火照ってしまいます…

11 (らいか) アタシだって、今、すっぴんムラムラしてるから……

12 なあ、ご主人様、次はアタシじゃダメかな？

13 オナホみたいに、乱暴にパンパンって

14 おまんこ犯されたいんだよ……。

15 アタシの雌穴、もう発情しまくってて、愛液…止まんないから…っ

16 (朱音) ご主人様、次は私ですよね？

17 私のおまんこも、子作りエッチの準備できていますのび…

18 どっか、お願いします…

19 (朱音) んれろあ、れるう、れろれろあ、んれろう、れろあ、れるれるれろう

1 (らじか) ……あ、ずりいぞ。アタシだって……

2 ねろお、んねろう、ねるねろお、ねるろお

4 (なお) ああ、ご主人様のおちんちんピストン、もっと激しくなってえ、

5 あんっ、あっああ、ずりいです…っ、んあっあんっ

6 んっんんう、ああ、私、もう…っ、んあっ、イク…っ、

7 おちんちんでイっちやうう

8 んあっ、あんっ、ふあっああ…あっあっ、あああ、ダメええ、

9 んんう、おまんこお、きゅうきゅうって、

10 あんっ、おちんちに媚びてえ…ああああ

12 (なお) んんんんうう、ああああああ…っ

13 ああ、はあ…はあ…はあ…はあ…ああ、

14 おまんこご奉仕、ちゃんとできたでしょうか……

15 はあ、はあ…ああ…

17 (朱音) ふふ、なおさんをもうイかせてしまうなんて、さすがはご主人様です

18 ただ、彼女が早く絶頂してしまったので、

19 タマタマの中はいっぱいなのはあ…

21 (朱音) ご主人様、私のおまんこに、吐き出していただけませんか？

22 おちんぽ好き好きいって、溜まった精液、

23 ぜーんぶ搾り取ってあげられますよ

25 (らじか) あ、アタシも…あ、ああ

- 1 (朱音) ふふ、素直になれないから出遅れちゃうんですよ。
- 2 ご主人様のおちんぼは、私のものです
- 3
- 4 (朱音) ん、んあああ、あああ……
- 5 はあ、はあ……おちんぼ、来たあ……
- 6
- 7 (朱音) んっんう、あんっ、ふあっあああ……
- 8 ご主人様のおちんぼ、すっごく硬いです……っ
- 9 あんっ、あっああ……私のおまんこにも、
- 10 興奮して下さっているんですね……嬉しいです……っ
- 11
- 12 (朱音) んっんう、あん、あっああ……はあ、はあ……
- 13 ご主人様、私のおまんこが一番ですよねっ。
- 14
- 15 (らぶか) おい、アタシのこと忘れてないよな……っ
- 16
- 17 (朱音) ふふ、そうでした。ん、はあ……らいかさん、
- 18 私たちの子作りを眺めてばかりいないで、
- 19 あん、メイドとしてっご奉仕しなきゃですよ
- 20 はあ、ああ……ご主人様が、
- 21 私の中で気持ち良く子種を出せるように……耳舐めっご奉仕っ
- 22
- 23 (らぶか) …っ、その言われるとむかつくな……。
- 24 まあ、分かったよ……ご主人様のためだもんな
- 25

1 (朱音) はあ、ああ…んっ、ああ…んっんう、あんっ、ああ……

2 そっいえば、「ご主人様により」ご満足いただくために、

3
4 (朱音) あるサービスを用意していたんです

5 VーPルームだけの、んう…

6 特別な映像となっていますので、はあ、ああ…

7 私のおまんこをハメながら、ゆっくりと「ご覧」ください…

8
9 (らいか) どうだ、すごいだろ。教室の床にセットした、隠しカメラの映像だ

10 ほら、女の子達のスカートの中が丸見えだろ？

11 これ、用意するのに苦労したんだからな…

12 この女学園の生徒は、みんな「ご主人様を悦ばせるための雌」ってわけだ

13 まあ、いちいち盗撮なんかしなくても、

14 「ご主人様の命令に従わない奴なんて、もういないんじゃないか？」

15
16 (朱音) んっんう、あん、あっああ…

17 ふふ、おちんぼ、ふっといです……んっんう

18 気に入っていただけたようですね……はあ、ああ…

19 んっんう、あんっ、あっああ…「ご主人様がその気になれば、

20 画面越しに見えてる雌の下着…その奥のおまんこを、

21 好き勝手にはめられるのに……ふふ

22
23 (朱音) ご主人様、こーゆーのが好きなんですわえ……

24 ん、んう、あん、あっああ…

25 でも、他の雌でおちんぼ膨らませるなんて、あん、

- 1 (朱音) おまんこハメられていても、ちょっと嫉妬しちゃいます…
- 2 んっんう、はあ、ああ…まあ、他の雌で濃くなった精液も、
- 3 私のおまんこで一人占めできると思えば、んう、悪くないですけどねえ
- 4 あん、んっんんう、あっああ…ふああ、あんっ、ああ…ご主人様あ、
- 5 んんう、精液、おまんこにください…っ
- 6 私のおまんこに、全部う……
- 7 んっんっ、んんう、あんっ、ふあっああ…っ
- 8
- 9 (朱音) ん、んう、あんっ、あっああ、はあ、はあ…
- 10 イくうう、んんう、あんっ、イっちやうう、あんっ、あっああ
- 11
- 12 (らいか) ねろお、んねるう、ねるねるう、ねるごお……
- 13 アマシの分、ちゃんと残してくれよ…
- 14
- 15 (朱音) ん、んんう、あっあああ、あんっ、んあっ、
- 16 あんっ、あっあああ——
- 17 (らいか) んねろお、ねるう、ねるねるう、
- 18 んねろお、ねるう、ねろねろねろお…
- 19
- 20 (朱音) んんんうう、んあ、ああああ、ふああああ……っ
- 21 (らいか) びゅにっう、びゅにっう、びゅねにっう、びゅねにっう、びゅにびゅねにっう
- 22
- 23 (朱音) はあ、はあ、はあ……精液、いつぱい……
- 24 んう、おまんこ、幸せですよ……ん、はあ
- 25 はあ、はあ、はあ……

1 (らいか) ご主人様、アタシともしてくれるよな…？
2 アタシだけお預けなんて、絶対やだ…
3 もつ我慢できないから、チンコ立たないって言っても、
4 無理やり入れてやる…
5
6 (らいか) ん、ぎゅっつうう。ふふ
7 離さないからな。このまま、チンコ、中に…
8 んんんうう、ああああ…
9 はあ、ああ……イったばかりなのに、
10 まだガチガチじゃねえか……ああ
11
12 (らいか) 嬉しい……ん、んう、あんっ、あっああ…
13 二人のエッチ見せつけられて、あんっ、
14 ずっと我慢してたからあ……んっんう
15 ほら、おまんこトロトロだろ？
16 んっんう、ご主人様のチンコ、欲しくて……んんう、
17 もつこんなに発情しちゃったから……はあ、ああ…
18
19 (らいか) あんっ、あっああ…最高お……んっんんう、んちゅっう
20 んちゅっ、ちゅっう、れるれるう、れるお…れるれるう、んちゅっう
21 ちゅばあ…っ、はあ、ああ……んんう、すっお…っ、
22 べろちゅーしたら、中でも大きく…っ、んあ、あんっ、あっああ
23 おまんこ、広げられて……んう、アタシの中、
24 もつご主人様の形になってるう……はあ、ああ……んっんんう、んちゅっう
25

- 1 (らじか) んちゅっ、ちゅうう……好き、ちゅるう……大好き……んちゅっちゅうう
- 2 ちゅっ、んっんんう、んちゅっちゅるう、
- 3 れるれるう、んう、れるちゅうう……っ
- 4 ちゅばあ……っ、はあ、ああ……んっんう、ああ……はあ、はあ……っ
- 5 ……ご主人様？ 何よぞ見してるんだよ……ん、んう、はあ、ああ……
- 6 あっ……他の女子のパンツ見てるんだろっ、
- 7 んう、はあ……今は、ダメ……アタシだけ見てよ……っ
- 8
- 9 (らじか) んちゅっ、ちゅうう、れるう、れるれるあ、んちゅうう
- 10 ちゅるう、んれるう……ご主人様は、アタシの身体で、
- 11 精子を出せば良いんだ……んちゅうう
- 12 んちゅっ、ちゅうう、れるれるう、んんう、んちゅうう、
- 13 ああ……もっびびびっって……ちゅうう、んちゅうう、ちゅばあ……っ
- 14 はあ、ああ……っ、このまま、精子……アタシの中……っ、
- 15 んっんんう、あんっああ
- 16
- 17 (らじか) 妊娠するくらい、濃いので……出してえ……っ、
- 18 ああんっ、ふあっあっあああ
- 19 んっんあっ、あっあっあああ、んちゅううう、ちゅるう、
- 20 れるれるれるう、んちゅっ、ちゅううう、イっくうう……っ
- 21 んっんっんっんんんう……っ、ちゅううう、んんんん……っ！
- 22 ちゅばあ……っ、はあ……はあ……ああ……
- 23 こんなので、絶対……妊娠しただろ……はあ、ああ……
- 24 ご主人様の子種、収まり切れてない……
- 25 はあ、はあ……はあ……

1 (らいか)「ご主人様、こうやっておまんこを食べ比べるのも良らげど」

2 もっど、アタシともエッチ、してよね……

3 ……ん、ちゅっ。ふふ

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

1 ■トラック9『実験記録、継続断念』

- 2
- 3 まったく、派手にやってくれましたね…
- 4 学園という名の箱庭で、好き勝手やっている分には問題なかったのに…
- 5 文化祭に乗じて、外部の人間まで巻き込むとは……
- 6
- 7 幸い、私の作ったアプリが万能なおかげで、
- 8 大事には至っていませんけど……まあ、時間の問題でしょうね
- 9 最近はどうも調子に乗っているというか、詰めが甘いと言っか……
- 10
- 11 大量のサンプルを提供してくれる優秀な検体だったので、
- 12 気に入っていたんですが
- 13 このまま何かやらかされてしまったらでは遅いですし
- 14 そろそろ潮時ですかね……

15

16 (END)